

聞いて！見て！触って！

看取りのシミュレーション

と 身近な医療機器

7月22日(金)・23日(土)、姫路メディカルシミュレーションセンターひめマリアにて上記研修会を行いました。看取りについての講演後、実際にシミュレーション人形や医療機器を“聞いて 見て 觸って”体験していただきました。感染予防対策として密をできるだけ避けるため人数制限を行い、体験時は全員フェイスシールドを着けました。29名の方にご参加いただきました。

講 師

**姫路市医師会 訪問看護ステーション
吉原 弘美 氏**

看取り期の身体的変化と利用者・家族へのより良い支援について、事例を含めてご講演いただきました。



聞いて・見て・触って納得！（各ブースに分かれて体験）

看取りのシミュレーション人形



ストーマ装具（パウチなど）



膀胱留置カテーテル



吸引



在宅酸素



経管栄養



参加者の声（抜粋）アンケートへのご協力ありがとうございました。

- ・実際に家族の立場に立って感じたことやケアマネ・介護職の対応で良かったこと・助かったことなどをお伺いでき、とても勉強になりました。
- ・看取り期の過程を知ることで家族様に対するアドバイスをどうすればいいか分かった。
- ・実技で実際の器具や物品を触りながらの実習がよかったです。
- ・身体のサインなど分かりやすく説明していただき、どのような経過をたどるのかが分かった。
- ・看取りに関わらず、利用者様の普段のご様子を把握し、事業所さんとの情報共有や課題発生時の対応が丁寧かつ迅速に行えるよう取り組みたいと思います。
- ・実際に看取りの利用者がいるので、すぐに実践できそうです。特に観察ポイントを頭に入れて、迅速な対応をしていきたいです
- ・終末期の支援に介入することが多いので、利用者様の立場に立った支援に活かせると思いました。